

地域モビリティ（移動の利便性）確保研修

デジタル技術を活用した 地域交通課題の解決手法

～「勘と経験と度胸」から
「仮説・検証・データ分析」へ～

本プログラムの目的

デジタル技術を活用した地域交通課題の解決手法
～「勘と経験と度胸」から「**仮説・検証・データ分析**」へ～

目的①：地域交通に係るデータとその可視化方法を知る

目的②：課題の仮説とデータを用いた検証方法を経験する

目的③：デジタル技術を用いた課題解決策と効果を知る

実務経験からお話しさせていただきます。

1. はじめに

本日の内容

項目	概要	目安時間
1. はじめに	自己紹介、本プログラムの目的	10:30～ 5分
2. データの重要性	デジタル技術で可能なこと、データの使い途	10:35～ 5分
3. データを活用した問題発掘・対策検討の進め方	デジタル技術で可能なこと、データに基づいた議論やデータの可視化の重要性の説明	10:40～ 25分
4. データの活用事例	仮説検証や問題特定でのデータ活用事例を紹介	11:05～ 30分
5. 課題把握の実践例	現状分析、課題検討をコンサルタントがどのように考えているのかの実践例を紹介	11:35～ 25分
休憩		12:00～ 60分
6. 問題発掘・対策検討	演習①：問題点の仮説	13:00～ 50分
	演習②：必要な調査の抽出	13:50～ 15分
	演習③：問題点の検証	14:05～ 30分
	演習④：望ましい姿と課題の整理	14:35～ 30分
	演習⑤：具体的な対策の検討	15:05～ 30分
	発表 : 各班の発表 (7分×5班)	15:35～ 30分
おわりに	まとめ	16:05～ 10分